

研究対象者に通知し、又は公開すべき事項(情報公開用)

試験番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法

- ・研究科題名：前向きな生活適応へレジリエンスを高める心理支援と運動介入の検証
-血液がん患者さんを対象に-
- ・目的：がん患者のレジリエンススコアに応じた身体活動量を調査し、レジリエンスを高める心理的介入と運動効果を高める介入方略の検証を行う。
- ・研究期間：臨床研究 IRB 承認日～2026/3/31
- ・研究対象：臨床研究 IRB 承認日～2026/3/31

利用し、又は提供する試料、情報の項目

患者情報：病名，年齢，性別，発症日，入院日，合併症，既往歴，現病歴，治療状況レジリエンスの評価：日本版コナー・デビッドソン回復力尺度（Connor-Davidson Resilience Scale：CD-RISC）。不安の評価：日本語版 POMS（Profile of Mood States：POMS）。自律神経評価：Pulse Analyzer Plus Tas9VIEW(YKC group)で心拍変動(Heart Rate Variability，HRV)および周波数解析。注意バイアススコアの評価：ABM TRAINERで注意バイアススコアの測定を行う。身体活動量・行動記録：ライフコーダGS（スズケン社）ライフコーダGSにて測定

介入について

実施される介入内容は、低負荷の運動療法，マインドフルネス・トレーニング。運動療法はウォームアップ～クールダウンまで体調に合わせて実施する。運動負荷量はBorg scaleで低負荷になるよう管理され，身体への負担はかからない範囲の運動を行う。マインドフルネス・トレーニングも同様に，体調に合わせて実施していく。

利用する者の範囲

- ・所属、氏名：埼玉医科大学国政医療センター リハビリテーションセンター 大木原徹也

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- ・所属、氏名：リハビリテーションセンター 大木原徹也